

## いじめ問題の現状と課題について

### 1 徳島市「いじめに関する調査」結果より (％)

児童生徒調査(小4～中3)		H18	H21	H24	H27	H30	R3
いじめを受けたことがある	小学生	39	34	34	27	24	
	中学生	35	31	25	21	18	

- ※ 課題(H30) ・ 今もいじめが続いている児童生徒が存在すること
- ・ 「いじめ」を誰にも相談していない児童生徒や保護者が存在すること
  - ・ 「いじめ」を見ても、注意や相談をしない傍観者的な児童生徒がいること
  - ・ 「いじめ」の態様では、「悪口・かげ口」が最も多く、小学生の「暴力」と中学生の「ネットいじめ」への対応が急務であること

### 2 いじめの認知件数

問題行動に関する調査(小1～中3)			H26	H27	H28	H29	H30	R元
いじめの認知件数	小学生	徳島市	95	178	172	189 (3)	421 (10)	395 (5)
		全国	122,734	151,692	237,256	317,121 (3,455)	425,844 (4,606)	484,545 (5,608)
	中学生	徳島市	73	110	120	102 (17)	64 (7)	98 (25)
		全国	52,971	59,502	71,309	80,424 (6,411)	97,704 (8,128)	106,524 (8,629)

- ※ いじめの認知件数《H29～R元》のうち(パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。)が占める割合は、全国集計で小学生全体の1.1%→1.1%→1.2%、中学生全体の8.0%→8.3%→8.1%と推移している。徳島市の集計では、小学生全体の1.6%→2.4%→1.3%、中学生全体の16.7%→10.9%→25.5%と推移している。

### 3 ネットいじめの特徴

- (1) 従来はいじめでは、直接接していたため、子どもたちの力関係が影響するが、「ネットいじめ」は、顔が見えないため、力の強弱に関係なく、誰でも加害者や被害者になる。
- (2) 不適切なメッセージを、短時間に多くの不特定多数に伝達できる。(インターネットの特徴)
- (3) 一度発信した情報は、完全に取り消すことができない。(画像等がコピーされ広がる)
- (4) 他人になりすましていじめをする。
- (5) 匿名性が高く、本人を特定できないと思っている。
- (6) 家庭が安全な場所ではなく、24時間不安な状態にさらされる。等

### 4 「ケータイ・スマホの問題」～指導資料～

- (1) 人権教育の視点からアプローチする
- (2) 子ども自身が考える内容
- (3) いじめの防止…自尊感情
- (4) 加害者・被害者にならない
- (5) SNSに使われない 等を考慮し、平成27年6月に資料を作成、教職員へ配付

## 5 ネット利用の推進（平成28年度～平成30年度）

### （1）目的

インターネット等を利用した SNS による「ネットいじめ」「不適切な動画や写真の投稿」等が大きな社会問題になっている。また、それらを過度に利用することは、子どもたちの生活スタイルを変え、特に人間関係づくりに多大な影響も与えている。こうした社会情勢を踏まえ、本市においても問題のある書き込み等によるトラブルの防止をする必要があると考え、インターネット等の適切な利用に向けての講演会の実施や啓発活動を行っていた。本事業は平成28年度から平成30年度まで実施された。

### （2）具体的な取組

#### ① 子どものネット利用に関する情報連絡会の開催 年1回の会議

（H27年は年1回、H28・29は年2回、H30年は年1回実施）

※アドバイザー：NIT 情報技術推進ネットワーク代表（篠原 嘉一氏）

※会員：教育機関関係者、警察職員、弁護士、補導員等

#### ② 正しいネット利用のための講演会（講師 篠原 嘉一氏）の開催

※H28年度 小学校11校 中学校13校 高校1校 計25校

※H29年度 小学校24校 中学校 8校 計32校

※H30年度 中学校15校 高校 1校 計16校

#### ③ 啓発ロゴマークの募集及び啓発活動の実施

平成28年度に、ネットの正しい利用を呼びかけるマスコットキャラクターを決定し、ネットに関する配布物等に活用した。

令和元年度からは、年度初めに正しいネット利用に関する教員研修会を補導センターが開催（講師：NIT 情報技術推進ネットワーク代表 篠原 嘉一氏）するとともに、各学校において計画的に情報モラル教育を実施していただくようお願いしている。本年度については、新型コロナウイルス感染症を鑑み、教員研修会を延期している。また、補導センターに所蔵している多数の啓発DVDを学校へ貸出している。

## 6 生徒主体の取組（平成27年度～平成29年度）

### （1）平成27年度 徳島市・名東郡「中学生会議」

#### ① 参加者：中学校の各学校代表2名

#### ② 目的：携帯電話やスマートフォンを使ったトラブルや事件等に巻き込まれたり、いじめに利用したりしないように、被害者・加害者にならないより良い使い方等を話し合った。その結果を啓発し、情報機器をより有効に使うために自ら考え、責任をもった行動がとれる生徒の育成を目指した。

#### ③ 成果：以下の3点について意見集約した。

※ 具体的に使う時間を決めて、自分の生活にあった使い方をします。

※ 自分も他人も言われて嫌なことは書き込みません。

※ ブロックなどの機能を上手に使い、人と適度につきあいます。

### （2）平成28～29年度 徳島市・名東郡「小中学生会議」

#### ① 参加者：小中学校、附属小中学校、城ノ内中学校の各学校代表2名

#### ② 目的：さまざまな「いじめ」をなくすための取組について、他校の児童生徒と話し合う機会を持った。いじめと向き合い、仲間とともに自らいじめを解決する力をつけるとともに、いじめを許さない心情や態度を身につけ、自分たちで考え、自分も友達も大切にすることを責任をもった行動がとれるようになることを目指しました。

#### ③ 成果：ポスターを作成し、会議の成果やいじめ防止啓発をまとめ配付した。